

# 議会だより

# 利尻 港

平成25年1月

# NO 158



## 第4回定例会

- 平成24年度一般会計などの補正予算を可決  
..... 2～3
- 3議員が一般質問 ..... 4～5
- 行政報告 利尻空港の利用状況など 2件  
..... 6
- 議員発議、議会改革調査・検討特別委員会報告  
..... 7

## 第2回臨時会

- 条例改正、人事案件 ..... 6

～平成25年 消防団出初式 より～

# 第4回定例会

12月13日

## 一般会計ほか3特別会計の補正予算を可決

第4回定例会は、12月13日開催されました。

3人の議員が一般質問を行い、補正予算、専決処分などが提案され、慎重な審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

### 補正予算

#### 補正予算の主な内容

会計名	補正予算額	補正後の総額
一般会計	797万7千円追加	40億4702万8千円
港湾整備事業	17万9千円追加	2億1266万6千円
介護サービス	167万9千円減額	4億5487万4千円
国保施設	174万5千円追加	7627万5千円

生活交通路線維持補助金・・・・・・・・・・317万5千円  
後期高齢者医療給付費負担金・・・・・・・・・・353万7千円  
障害者福祉扶助費・・・・・・・・・・877万2千円  
子宮頸がんワクチン接種扶助費・・・・・・・・・・149万2千円  
灯油備蓄施設等解体工事費・・・・・・・・・・488万1千円  
光ケーブル移設工事費・・・・・・・・・・296万3千円  
住宅修繕料・・・・・・・・・・346万円  
道々拡幅用地、家屋移転補償費・・・・・・・・・・1931万8千円減額  
介護サービス会計繰出金・・・・・・・・・・305万9千円減額

一般会計は、生活交通路線維持補助金、障害者福祉扶助費、灯油備蓄施設移設工事費、光ケーブル移設工事費など797万7千円を追加しました。  
補正予算の主な内容は次のとおりです。

### 質疑

**Q** 俵谷議員 新朝日ふ化場は従来の飼育管理と比べどのような利点・欠点があるのか  
また、水量確保のために増設したポンプアップの安定性は。

**A** 産業建設課長 新朝日ふ化場はふ化器がボックス型となっており、一度に何キロもの卵数を収容できることから作業が効率化されました。作業に戸惑いもありますが、技術指導等を受け時間と共に熟練されるものと思います。  
水量については安定しています。

**Q** 再質疑 新朝日ふ化場に収容された種卵は、順調に生育され放流されますか。

**A** 産業建設課長 成長率・生残率も良く、問題はないと認識しています。

**Q** 俵谷議員 灯油備蓄タンクが2基増設されたが、この施設は一般家庭が使用する灯油価格に対し、価格の高騰にどのような抑制が出来ているのか。

**A** 産業建設課長 灯油価格が上昇しても、タンク内に灯油があるうちは仕入時の価格で供給することができますの

で、価格の高騰には貢献できている。



整備された灯油備蓄タンク

**Q** 俵谷議員 道々拡幅事業において、歳入の工事用地取得業務委託金が減額されている理由は。

**A** 産業建設課長 当初は見込みという形で予算計上していましたが、道の方でも配当額が要求額よりも下回ったことによる減額です。

**Q** 藤井議員 高水温の影響が天然・養殖昆布が着生していない今の状況への対策は。

**A** 産業建設課長 高水温の影響もあると考えているので、今後の推移を見守りたいと思っております。その結果により水産指導所や漁業協同組合と

話しを進めていきたい。養殖昆布に関しては、種昆布がない時点で促成昆布に切り替えるなど漁業者も対応をしている状況です。

**Q** 再質疑 島内でも場所によっては生産状況が違うという状況は、水温によるものなのか。またはヨレモクの繁殖による漁場管理の問題なのか。

**A** 産業建設課長 場所によって違うのかということ、自然が相手ということもあり難しい問題です。ヨレモクに関しては、駆除を行っても拡がるという特性があるため、沖ノナを移植し餌として利用したい。

**Q** 再々質疑 被害が拡大し生産が上がらなければ、国や道に対策を訴えていかなければならないのでは。

**A** 町長 駆除等のために補助制度を使うようにしても頂きたいということは、既に国や道に訴えています。

**Q** 黒川議員 道々拡幅事業について、大規模審査が10年計画から5年に変更となり、移転補償費から道路の建設へ事業費がシフトしていると聞いています。道々拡幅に対する影響を説明願います。

また、都市再生整備計画の

内容について説明願います。

**A** 産業建設課長 当時は10年毎に事業の再評価をする方向でしたが、5年毎に変わりました。平成26年に再評価が実施されるものと考えており、事業の進捗を見せるためにも、補償が進んでいる港町区間の工事を行います。補償はやらないというわけではなく、同時に進めるという考えです。

都市再生整備計画は5年間のスパンであることから、事業の進捗と計画の進路が合うかが問題となり、作成していません。代わりにこれから市街地整備を進めるために、社会資本整備事業のまちづくり事業という別メニューを検討しています。

**Q** 再質疑 期成会も含め対象になる沿線の住民は、これからの計画を心配している。期成会からは直接建設管理部と話し合いをしたいという意見もあるが、それは可能か。

また、まち並みに関する部分の提案を期成会にしているが、期成会としてはまち並み全体に責任を負う立場にならないか不安感を持っている。まちづくり協議会はどのような位置付けになっているのか。

**A** 産業建設課長 建設管理部も要求はしていますが、要

求どおり予算付けされないのが現実であり、難しい状況です。期成会と建設管理部の話し合いは、要望があれば可能です。

まち並みについては、まず期成会としてどういう場所に配置すれば良いか要望を出してもらい、ひとつずつ的を絞って固め、まちづくり協議会が案として検討する形で進めたい。

**Q** 戸嶋議員 インフルエンザワクチンを学生が接種する場合、学校全体として接種する考えはありますか。

**A** 福祉課長 自己負担もあり、強制ではないので難しいと思います。

### 専決処分

▽平成24年度利尻富士町一般会計補正予算(第3号)の承認を求めると

〔内容〕

衆議院の解散に伴い衆議院議員総選挙の費用に関わる補正予算、歳入歳出それぞれ480万円を追加することを、平成24年11月28日に専決処分したものを。

原案可決

### その他

▽公の施設の指定管理者の指定について

〔内容〕

鴛泊港漁船上架施設、鴛泊港鬼脇港区漁船上架施設、本泊漁港上架施設について、利尻漁業協同組合を指定管理者として指定し、維持・管理・運用業務を行わせるもの。

原案可決

### 報告

▽教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告

〔内容〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、平成23年度の教育行政執行方針の施策に基づいた学校教育、社会教育の事業の実施、施策の点検・評価が議会に報告されました。



# 一般質問

俵谷芳光議員 学校教育～小中併置校の建設

## 鬼脇地区小中併置校の新校舎建設に係る 地域との協議経過と今後の方針は

教育長 検討委員会を中心に地域の意見を反映させたい

議員 6月定例会で、小中併置校としての新校舎建設の要望があり、教育委員会は要望書の内容を十分尊重し保護者、地域と協議を重ね新校舎建設に取り組むことが行政報告されましたが、新校舎建設に向けて、地域においてはどのような組織体制の整備がなされたのか。また、この組織との協議の経緯と結果並びに新校舎建設までの工程をどう考えているのか。

教育長 鬼脇地区小中併置校の建設方針は、小規模校、少人数複式教育を鬼脇地域に残すため、地域と共存・共生できる教育力の向上と新たな地域づくりに取り組むことを基本と捉えています。地域の方々（学校のあり方を考える会・地域活性化推進協議会・自治会長連絡協議会）に出席を頂き、14名の委員による「鬼脇地区小中併置校建設検討委員会」の設置についてご理解と了承を得て、9月27日発足しました。  
検討委員会では、教育の方向性を軸に学校施設整備や建設場所の環境面など将来を見据え、地域のコンセンサスを図りながら検討すること、検討委員会を中心に小部会を開

き意見交換することとし、検討委員会の成果報告は3月末を予定しており、次年度以降もさらに検討・協議を重ねていきます。

今後の工程は、校舎の耐力調査の実施と基本設計の着手を初年度に、校舎改築のための申請手続きを2年目に、実施設計の着手を3年目、校舎・体育館の建設、屋外環境整備・グランド整備が4・5・6年目となるのが一般的な流れかと考えますが、当該小規模校の実情や地域の意見等を反映し、建設計画や財政計画を考慮して目標年度を定めた

再質問 検討委員会発行二ユースの内容では、抽象的で漠然としており焦点が絞られていないと受け止めています。ただ意見を聴くだけでなく取りまとめの方向性が示されていないと考えると考えます。

基本構想を具現化するには地域住民に青写真を示すことが第一条件であり、青写真によって地域の方々から様々な意見、要望が出され地域の考えていることが反映できるものと考えます。

利尻小学校は利尻島にお

る学校教育発祥の源でありますので、歴史的経緯、文化性として地域のシンボリック施設として検討が加えられるべきであり、将来的な機能の中で、地域における学校施設の活用や非難場所としてどう機能を高めるかなど、基本設計の段階で住民サイドの考え方をどう参画させるのか、地域の考え方をどのように反映させるのか伺います。

教育長 建設場所は3月末までに決定したいと考えており、場所が決定後に地域の意見を頂き、取捨選択の上意見を反映させながら基本設計に盛り込んでいきたい。財政計画も重要になりますので、財政面を相談しながら基本設計・実施設計が進んでいく段階でもさらに意見を聞き反映させたい。



米谷 篤議員 観光関連施設整備

## ペン岬遊歩道を改修すべき

町長 改修は考えていないが、利便性の向上を検討したい

議員 ペン岬遊歩道が自然工法によって施工整備されましたが、遊歩道上に岩が突出しており観光客等は遊歩道の両端を歩行していますので、展望台までの遊歩道を改修すべき。

**町長** 遊歩道は、現地の

地形や地質に合った工法を選  
択しなければならぬことか  
ら、流水による侵食から遊歩  
道を守る、自然景観を守る、  
観光資源と風土を守ることを  
目的として、ペシ岬の歩道側  
面は急傾斜地であることから  
水の流れに逆らわず、水のエ  
ネルギーを少しでも消耗させ  
ることにより、流水が土砂に  
よる浸食、運搬、堆積する作  
用を利用し、植生物の後退と  
裸地拡大を防止することをコ  
ンセプトとして近自然工法を  
採用し施工しました。

現在の段階では苦情等は寄  
せられていませんが、改善策  
を検討する過程で、ウッドチ  
ップによる舗装を検討しまし  
たが、新たな侵食を引き起こ  
す可能性も指摘されました  
ので、直ちに改修することは無  
理がありますが、観光関係者  
や利用者の状況を把握しなが  
ら、住民や観光客の利便性の  
向上について検討したい。

**再質問** 緊急時の避難場所  
になっているのでは。

**町長** 難場所は冬期間の  
ことも想定しなければならぬ  
ので、指定は防災計画を作  
成する段階で検討します。

**黒川健一議員** 行政施策～重点的に推し進めたい政策は

## 町政仕上げの一年 残された課題にどう取り組むのか

**町長** 国・道の制度を活用し漁業振興、観光振興を軸に  
景気・経済・雇用対策に取り組むたい

の課題について重点的に推し  
進めたい政策について伺いま  
す。

**町長** 残された課題の取  
り組みとしては、人口の減少  
過疎化や高齢化の進行など解  
決しなければならぬ問題・  
課題が多くありますが、議会  
や住民の皆様のご支援とご協  
力によって行政改革が進んで  
おり、行政改革の成果で生ま  
れた財源を基に、懸案事項の  
課題解決に取り組むことがで  
きました。

新年度予算編成については、  
フェリーターミナル政策の大  
規模な事業を継続で実施して  
いることから、特別な事業を  
指示しているものではなく、地  
域懇談会等で要望のあった事  
業等を整理しながら、歳入の  
確保も勘案し選択と集中を念  
頭において予算案が決定され  
ます。歳入の確保は相当困難  
になることが予想され、歳出  
は厳しい査定になると覚悟し  
ていますが、どのような状況  
にあっても町内の景気・経済  
・雇用対策は守らなければな  
らず、持続可能な行財政の運  
営にも配慮し、経常経費の節  
減を図り、各種事業では、財  
源の確保と公債費の状況も勘  
案した実施事業を選択し、景

気・雇用対策に繋がる予算を  
編成したい。

**再質問①** 利尻島国保中央  
病院の改革プランが平成25年  
度再見直しの時期になります。  
第三者に委託された経営診断  
で、両町の合理的な負担割合  
ということが指摘されていま  
すが、平成23年度の患者利用  
率の割合が利尻富士町が4割  
弱になっていきますので、利用  
割合からの見直しの方向が予  
想されますが、中央病院の医  
療体制が維持されなくなると  
住民の命と健康を守る上では  
危惧感がありますので、改革  
プランの見直し時期にあたり  
どういう考えで臨みますか。

**町長** 中央病院改革プラ  
ンは、利用者をもどのように快  
く迎え入れるかなど、病院の  
中をどのように改革していく  
かというのが基本だと思っ  
ています。

負担の問題については、赤  
字だから負担しながら改革が  
できたという考えはありません。  
病院の利用者がいなければ  
経営が成り立たない、4割  
の方が利用しているのであれ  
ばそれだけ貢献しているとい  
う考えもあり、財政負担の問  
題は別に考えて対応したい。

**再質問②** 現状では産婦人  
科の体制がなく子どもを島内  
で出産できないため、旅費等  
の補助により一定の成果がで  
ていますが、第2子からは、  
第1子の育児体制がないと負  
担が大きく子どもを作らない  
という実態があります。産婦  
人科医と小児科医がいなけれ  
ば出産できないということでは、  
助産師により出産ができ  
た時代もありましたので、改  
正離島振興法では離島の位置  
付け、定住促進が図られる理  
念が明記され、離島特区制度  
の創設についても規定されて  
いますので、リスクを承知で  
出産する親がいれば島内で出  
産できる離島特区体制に取り  
組むべきでは。

**町長** 第2子・3子の出  
産については現行の補助制度  
の中で支援していきたい。

リスクを覚悟での特区制度  
については、リスクがあるか  
ら医師が断る実情ですので、  
特区制度は難しいと判断して  
います。改正離島振興法には  
交付金制度ができましたので、  
福祉関係事業についても交付  
金制度の活用を検討したい。

**議員** 人口減少による過

疎化と高齢化、それに関連す  
る基幹産業である漁業従事者  
の減少と高齢化、観光産業の  
長期に亘る低迷は、今後のま  
ちづくりに大きな不安要素を  
残していますが、新年度の予  
算編成作業に向けて、これら

# 行政報告

第4回定例会において、町長より「利尻空港の利用状況について」ほか1件について行政報告がありました。

◎利尻空港の利用状況について

9月のANA便（千歳〜利尻〜千歳間）は、4千443人、搭乗率58・8%。

9月から11月のHAC便（丘珠〜利尻〜丘珠）は、1千254人、搭乗率60・1%であったこと。

◎利尻空港カバードウォークの設置について

北海道（宗谷総合振興局建設管理部）が事業主体となり、バリアフリー新法による利尻空港機能高度化事業として、空港ターミナルから駐車場ま



カバードウォーク完成予想図

で障害者用経路等についてカバードウォークを設置し移動経路のバリアフリー化を図る工事を、平成24年度・25年度の2カ年間で実施すること。

## 第2回臨時会

【11月2日】

### 条例改正

▽利尻富士町漁船上架施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

〔改正内容〕

漁船上架施設にかかる管理を、指定管理者の指定により維持管理・運用業務を行うこととの追加と、施設の毀損等への損害賠償の追加によるもの

### 質疑

Q 俵谷議員 指定管理者への委託について、本条例の一部改正と指定管理者の指定手続きに関する条例の整合性は

A 産業建設課長 指定管理者の指定手続きに関する条例は必要な手続きを規定しており、業務を指定管理者制度で委託する場合は個々の条例で定めることとなります。

原案可決

### 人事案件

#### 監査委員

菊地喜助氏の後任として、種谷正邦氏を選任することに同意しました。

#### 公平委員会委員

飛鳥忠章氏の再任、種谷正邦氏の後任として、川村正博氏を選任することに同意しました。

#### 固定資産評価審査委員会委員

川村正博氏の後任として、飯田睦穂氏を選任することに同意しました。

#### 教育委員会委員

桂 晃洋氏（再任）、石川武弘氏（再任）を任命することに同意しました。

## 質疑・質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局にお問い合わせ下さい。

# 議員発議

## 町議会会議規則の一部改正

地方自治法の一部改正の施行に伴い、会議規則の条文の一部改正と本会議においても委員会同様、公聴会、参考人招致ができることになったため、公聴会、参考人制度導入に関することを会議規則に規定するもの。「原案可決」

## 町議会委員会条例の一部改正

議会の活性化に資する議会改革を推進するため、議会改革事項として、多様な意見の集約を担う体制を整備し、多様な広報・広聴手段の活用により町民が関心を持つ広報・広聴活動に努めるため、その事務を所管する、広報・広聴常任委員会の設置を委員会条例に規定するもの。「原案可決」

# 議会改革調査・検討特別委員会報告

議会改革調査・検討特別委員会は、去る平成23年6月22日の定例会で設置された後、1年半に亘り議会の活性化に資する議会改革事項について、議論を深め、協議・検討を行いました。また、並行して、広報広聴特別委員会も設置し、議会の広報・広聴機能の充実を図ることから、町民との信頼の回路を築き議会の意図するところを伝えるために、議会広報誌の編集方針、意見交換会の創設、議会傍聴の促進などについても調査・検討を行いました。

決定された議会改革事項は、すでに実践されている事項もありますが、議会改革の基本となる具体的な取り組み事項は次のとおりです。

- (1) わかりやすく、町民が参加できる議会
- (2) しっかりと討議することができる議会
- (3) しっかりと審議することができる議会
- (4) 町民が実感できる政策提言ができる議会

議会活性化に資する議会改革事項

- 1、意見交換会の開催
- 2、議員間討議の活発化
- 3、質疑・質問の手法の改革
- 4、議決責任と説明責任を果たす
- 5、通年会期制度（議会活動期間の確保、会期の長期化）

## 結びに

議会の活性化に資する議会改革は、すでに実践されている事項もありますが、町民の意見を後ろ盾としながら合議体としての機能を果たせる議会、町民からその存在をより認められる議会の実現に向け、改革事項の実践と制度改革に努力していきます。議会改革の取り組みは未だ試行錯誤の段階にあります。議会活動を支える体制の整備のため、議会改革の更なる推進を図りつつ、町民に信頼され存在感のある豊かな議会を築き上げたいと思っています。

創設された意見交換会は、議会報告や議会の役割、議会のしくみ、議会のしごとなどについて町民の皆さんとの意見交換と懇談により、広く町民の声をお聞きし、町政に反映させていくものです。

今後、意見交換会の日程が決定次第ご案内をいたしますので、町民の方々の参加をお待ちしています。

# 委員会レポート

11月27日  
総務民教産建常任委員会

総務民教産建常任委員会は、議会閉会中継続調査として11月27日に開催し、利尻富士町新まちづくり総合計画の進捗状況調査外1件について調査しました。

常任委員会の報告事項は次のとおりです。

## 1 利尻富士町新まちづくり総合計画の進捗状況調査

平成20年度から平成29年度までの10年間を計画期間とした、新まちづくり総合計画の進捗状況を調査しました。

計画では、諸情勢の変化や進捗状況を点検し3年ごとのローリングによる見直しを行うことになっているが、実施されていないので、見直しを行った際には議会に報告されるべきとの意見を呈しました。

## 2 改正・延長された「離島振興法」の調査

平成24年6月20日に参議院本会議において、離島振興法の一部を改正する法律が全会一致で可決・成立し、法律の有効期限が、10年間（平成35年3月31日まで）延長されたことに伴い、平成25年4月1日から施行される同法の主な改正点について調査を行いました。

主な改正点は、①目的規定の充実、②基本理念・国の責務の新設、③実施体制の強化、④離島活性化交付金等の充実、⑤離島特区制度の整備などですが、委員会としては、引き続き法律及び制度の内容について調査を行います。

## 議会日誌

11月

- 23日 利尻島新嘗感謝祭
- 27日 議会改革調査・検討特別委員会  
総務民教産建常任委員会

12月

- 2日 歳末チャリティー演芸会
- 6日 議会運営委員会
- 7日 全員協議会
- 13日 第4回定例町議会
- 17日 利尻礼文消防事務組合議会
- 18日 利尻島国民健康保険病院組合議会
- 18日 利尻郡清掃施設組合議会
- 18日 利尻郡学校給食組合議会

1月

- 28日 御用納め
- 1日 利尻山神社歳旦祭
- 3日 北見神社歳旦祭
- 4日 平成25年成人式
- 5日 消防団出初式
- 6日 御用始め
- 11日 鬼脇老人クラブ潮流会新年交礼会
- 12日 鴛泊老人クラブ和友会新春の集い
- 22日 観光協会新年会
- 24日 宗谷町村議会議長会定期総会  
(稚内市、議長・局長)
- 29日 岡本周作氏叙勲祝賀会

## あなたの声を 議会だよりに!

議会ではみなさんの声をお待ちしております。

### ■宛先■

〒097-0101 利尻富士町鴛泊字富士野6番地  
TEL (0163) 82-2512  
FAX (0163) 82-1253  
E-mail gikai@town.rishirifuji.hokkaido.jp

## 議会の 予定

- 2月 第1回議会運営委員会  
第1回総務民教産建常任委員会
- 3月 第2回議会運営委員会  
第1回定例会

※議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局にご確認下さい。